

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 2月15日

事業所名 ぼとと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	人数に対して狭いので、整理整頓し個室の確保と机上、運動の課題が行えるスペースの確保をしている。	子どもたちに最善の環境を提供できるように工夫して取り組んでいきます。
	2	職員の配置数は適切である	3	5	求人を出している。迎えの時間帯や集団遊びの際の確保が課題だが、見発の職員の応援で個別の支援を行える環境を整えている。	定められた人数に加えて、直接支援を行う人員を増やして、より質の高い支援に取り組んでいきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	0		環境整備を行いながら、対応していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0		常に改善を行えるように、意思疎通を密に行っていきま
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		引き続き、保護者のフィードバックを業務改善に役立てていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		ホームページにて公表していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	0		保護者が参観に来られた際にアンケートを配布して、その内容を業務改善に役立てています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0		島外への研修には参加が難しい状況のため、オンラインでの研修参加に取り組んでいま
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		引き続き、保護者のニーズや困り感を把握して、計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0		認知機能の評価に加えて、適応行動についての評価にも取り組んでいきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	面談やミーティング、レポートを通して行っている。	質の高い支援ができるように取り組んでいきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	支援の結果から支援内容を確認し、話し合う場を設け	評価結果や学校での様子を確認しながら、柔軟に必要な支援に取り組んでいきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	長期休み等は川や海で屋外療育を行うなど普段行えない活動を取り入れている。	評価結果や学校での様子を確認しながら、柔軟に必要な支援に取り組んでいきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		評価結果や学校での様子を確認しながら、柔軟に個別・集団での活動に取り組んでいきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0		情報共有を常に行い、リスク管理や支援がスムーズに行えるように取り組んでいきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	朝礼後に前日の報告や業務日誌での確認支援経過の記入時などに情報を共有している。	情報共有を常に行い、リスク管理や支援がスムーズに行えるように取り組んでいきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		日々の結果を検証して支援を柔軟に変更できるように、職員個々の力を高める取り組みを行っていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0		評価の解釈の幅を拡げることができるように、職員教育を行っていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		引き続き、評価結果に合わせて、必要な支援を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成していきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		管理者対応で引き続き行っていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0		情報の共有を行い、引き続き学校と連携していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	0	バスクリーの使用方法を確認した。また、エビペンの使用訓練も行っている。	引き続き、訓練を継続していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0		引き続き、情報共有を行っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2	障害者福祉サービス事業所へ移行する児童がまだいないため情報提供の機会はないが、機会があれば情報提供できる体制ではある。	今後対象となる児童がいれば対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		療育相談や発達育育クリニックを通して連携を行っていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4		普段から利用児童は、学校に通学しているため、特段必要がないと考えているが、必要に応じて取り組んで行く。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	3		法人として参加しており、引き続き、情報提供を行っていきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0		連絡ノートに加えて、インターネットを利用した双方向のやり取りを引き続き行っていきます
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	3		引き続き、保護者面談時に保護者支援を行うとともに、計画的にペアトレに取り組んでいきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	3		引き続き、保護者が理解できるように説明を行っていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		引き続き、相談があった場合は、適時対応している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	4	コロナ感染を防ぐため行えていないが、以前は開催していた。	社会的状況を確認しながら、実施に向けて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		引き続き、苦情があった場合は、適切に対応していきま
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	ブログや個別で動画を配信している。	ホームページやLINEofficialを通じて、情報発信を行います。
	35	個人情報に十分注意している	8	0		引き続き、マニュアルの改訂や職員教育に取り組み、個人情報に関する取扱いには注意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		引き続き、スムーズな意思疎通が行えるように取り組んでいきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3	現在はコロナ感染拡大を防ぐために行事等行っていないが以前は招待して行っていた。	社会的状況を確認しながら、実施に向けて検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1	引き続き、職員に対しては入職時に各マニュアル説明を行い、職員会議を通して改定を行います。また、保護者に対しては契約時にマニュアルについて説明を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	引き続き、消防署の協力をもらいながら、定期的な訓練を行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2	引き続き、マニュアルの改定や研修を通じて、虐待防止に取り組んでいきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1	引き続き、マニュアルの改定や研修を通じて、身体拘束防止に取り組み、必要に応じて対応を行っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	引き続き、医師の指示に基づいた対応と、訓練に取り組んでいきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	引き続き、リスク管理に組織的に取り組んでいきます。